

Technical Data Sheet

2004/06/30

3120-202 Mansfield 8011 セラミックバッフル交換方法

パーツ		ご用意いただくもの
3120-202	バッフルボード (□ w470 x d310, t=13 mm)	ラジオ・ペンチ(ニードルノーズ・プライヤー) マジックペン ストーブセメントまたはガスケットボンド

始める前に 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。炉内の灰をきれいにしてください。

手順

- まず、ストーブ炉内のエアースタックを外します。
マンسفールドのエアースタックは4本あります。外す前に、順番がわかるようにマジックペンで印をつけておいてください。図のように印が付いているので、確認してください。

.....点4つが一番手前

・点1つが一番奥



- 手前から数えて3番目(奥から2番目)のエアースタックの左端にあるピンを外します。
そうするとこのエアースタックは取り外せますので、左側へパイプを動かしマニフォールドから外します。

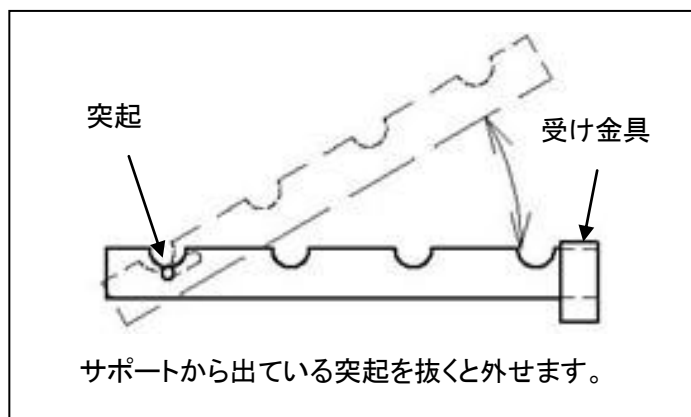


Technical Data Sheet

2004/06/30

3120-202 Mansfield 8011 セラミックバッフル交換方法

3. 右側のエアースタックサポートを外すと、全てのエアースタックが取り外せます。



4. セラミックボードが取り外せる状態になったので、上に載っているセラミックブランケットと一緒に外します。このセラミックブランケットは再び設置しますので捨てないでください。マニフォールドの端の部分などに乾いたストーブセメントが残っている場合には、きれいに落としておきます。
5. 新しいセラミックボードの上にセラミックブランケットを載せます。少量のストーブセメントまたはガスケットボンドをセラミックボードの上部につけて固定しておくと、取り付け時のずれ落ちを防ぐことができます。
6. セラミックブランケットを付けたセラミックボードを炉内へ入れ、マニフォールドの後方部分と側面の一方へ載せます。
7. この状態で、エアースタックを元の位置に取り付けます。まずはリテイナーを右側のマニフォールドへ付け、手前をブラケットへ滑らせるようにします。
8. エアースタックを一番奥から取り付けます。パイプを左側をマニフォールドの左側にあるくぼみへスライドさせるようにして入れます。パイプの右側にあるスロットがリテイニング・ブラケットの上に乗るようにパイプの位置を決めます。ピンを差し込み、パイプを固定します。
9. パイプの間からセラミックボードへ手を伸ばし、中央へ動かします。エアースタックの上でしっかりと納まるようになっています。

注意

輸送中に動いて破損しないよう、工場出荷時にはセラミックバッフルボードをストーブセメントで固定しています。ストーブが設置され、輸送されることがない状態では、ストーブセメントでバッフルを固定する必要はありません。